



METROLOGIC INSTRUMENTS INC.

MetroSelect® Single-Line
設定ガイド

著作権

© 2005 by Metrologic Instruments, Inc. により著作権は保有されています。書評家が書評にて簡潔な一節を引用するか、もしくは 1976 年の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしにこの著作の一部をどのような形式であれ、任意の手段によって再生、送信、保持することはできません。

本書に記載の製品名および商標名はそれぞれの会社の登録商標です。

目次

はじめに	1
バーコード設定方法	
シングル・コード方式	1
マルチ・コード方式	2
初期設定状態に戻るには	2
コードタイプとデコード規定	
UPC/EAN	3
Code 128	4
Code 39	4
2 of 5 コード	6
Codabar	8
Code 93	8
Code 11	8
テレペン	9
Plessey コード	9
追加デコード設定項目	10
設定可能な読取桁数	11
サブルメント	13
RSS バーコード実装	
RSS 制限バーコード	18
RSS 拡張バーコード	18
ISBT コード 128 実装	
設定モード・バーコード	19
連結プログラム・モード・バーコード	20
事前定義済み連結プログラム・モード・バーコード	20
ユーザー定義された連結プログラム・モード・バーコード	21
通信	23
スキャナの動作	
設定モード・オプション	24
読取バッファ	24

2 回一致読取	25
他のデコード設定項目	25
同一シンボル・タイムアウト	26
LED オプション	26
ビープ音オプション	27
データ送信ディレー	29
通信タイムアウト・オプション	30
ホスト・スキャナのコマンド	31
テスト・モード	33
接頭詞/接尾詞	
ユーザー設定可能な接頭詞、すべてのデータ	34
ユーザー設定可能な ID キャラクタ、コード別	35
標準の接頭詞キャラクタ	37
標準の接尾キャラクタ	39
データ長の 2 回一致チェック	40
キャラクタの置換	40
ユーザーが設定可能な接尾詞、すべてのデータ	41
特別フォーマット	42
コード・フォーマット	
UPC/EAN フォーマット	43
コード・フォーマット	45
Code 39 フォーマット	46
Code 11 フォーマット	46
テレペン	46
Plessey	47
2 of 5 コード・フォーマット	47
RS232	
パリティの設定	48
ボーレート	48
データ/ストップ・ビット	49
ハード・ハンドシェーク	49
ソフト・ハンドシェーク	51
その他の設定	51

キーボード	
キーボード・エミュレーションの有効	52
国別/読取コード表の選択	52
キーボード/システム・タイプ	53
「Dumb」ターミナルの選択	54
特別キーボードの設定	55
インタースキャン・コード・ディレー	57
コントロール・セット	57
OCIA.....	59
ライトペンのパラメータ	60
細エレメント幅の設定	61
MS9520/9540-00 レーザー・エミュレーション	62
IBM 46xx 設定	
IBM ポート	63
IBM 予約コード	63
USB	64
コード・バイトの使用	
コード・バイト 0-9	66
予約コード	67
コード・タイプ表	67
ASCII 参考表	68
拡張キー・コード参考表	72
MS9520 Voyager® & MS9540 VoyagerCG® シリーズ	
アクティベーション範囲	74
CodeGate®状態	74
レーザー/読取モード	74
同一シンボル・タイムアウト	75
MS9524 & MS9544 VoyagerPDF® シリーズ	
MicroPDF および合成コードの取り扱い	76

MS9535 Voyager<i>BT</i>TM	78
MS9535-5M Voyager<i>BT</i>TM	80
インベントリ量バーコード.....	82
IS4120FL/IS4220FL 読取エンジン	83
その他の設定項目	
カスタム・デフォルト	84
シリアル・プログラム・モード	85

はじめに

あなたが購入されたスキャナは出荷時に工場のデフォルト設定でプログラムされています

ホスト・システムはそれぞれユニークなフォーマットやプロトコルを要求するので、バーコードを読み取るだけでユーザーの希望の設定構成に変更できる幅広い設定プログラムを Metrologic 社は用意いたしました。プログラムが終了すると、スキャナは不揮発性メモリ (NOVRAM) にその設定を書きこみます。NOVRAM はパワーがオフになった後もその設定をセーブします。



“*” (アステリック・マーク) で表示されているバーコードはデフォルト設定を示すもので、“~” (チルダ・マーク) で表示しているバーコードはマルチ・コード設定方法が必要となります。

バーコード設定方法

MetroSelect® はシングル・コード方式とマルチ・コード方式でスキャナのバーコード設定変更ができます。

- ❗ MS6220 Pulsar® はマルチ・コード方式以外の方法ではプログラム設定はできません。
- ❗ MS9540 スキャナを適当に設定するためには CodeGate® オプションを使ってすべてのプログラム・コードを読み取る必要があります。

シングル・コード方式

殆どの設定はシングル・コード方式でバーコードの許可・禁止が可能です。

1. スキャナの電源を ON にします。
2. 変更したい設定項目のバーコードを読み取ります。
3. 「設定セーブ」を表示する複数トーンのピープ音は NOVRAM にその設定がセーブされたことを示します。

バーコード設定方法

- ❗ MS6220 Pulsar™はマルチ・コード方式以外の方法ではプログラム設定はできません。
- ❗ MS9540 スキャナを適当に設定するためにはCodeGate®オプションを使ってすべてのプログラム・コードを読み取る必要があります。

マルチ・コード方式

すべての設定はマルチ・コード方式を使って許可・禁止を決める事ができます。
~ (チルダ) 印のついていない設定項目はマルチ・コード方式が必要です。

1. スキャナの電源を ON をにします。
2. 「設定モード IN/OUT」のバーコードを読み取り (ピープ音が 3 回鳴動) します。
3. 設定したい項目のバーコードを読み取り (ピープ音が 1 回鳴動) します。



「設定モード IN/OUT」のバーコードを読み取って終了する前に、複数の項目は許可・禁止の設定ができます。

4. 「設定モード IN/OUT」のバーコードを再び読み取る (ピープ音が 3 回鳴動) と新しい設定内容がセーブされます。



設定変更を中止するには、IN/OUT コードを読み取る前にスキャナの電源をオフにしてください。

IN/OUT 設定モード



初期設定状態に戻るには

「初期設定」のバーコードを読み取ると、今までに設定されたすべての内容が消え、スキャナの初期設定状態の通信プロトコルに戻ります。

キーボード・ウェッジ・インターフェースのスキャナはキーボード・ウェッジの初期設定状態に戻ります。

他のスキャナはすべて RS-232 の初期設定状態に戻ります。



Metrologic 社はカスタム OEM スキャナを製造しています。OEM スキャナは OEM の初期設定状態に戻ります。「Metrologic 社の初期設定状態」の影響等については 84 ページを参照してください。

初期設定



コードタイプとデコード規定



“*” (アスタリック・マーク)で表示されているバーコードはデフォルト設定を示すもので、“~” (チルダ・マーク)で表示しているバーコードはマルチ・コード設定方法が必要となります。

UPC/EAN



* UPC/EAN 許可



UPC/EAN 禁止



* UPC-A 許可



UPC-A 禁止



* UPC-E 許可



UPC-E 禁止



* EAN-13 許可



EAN-13 禁止



* EAN-8 許可



EAN-8 禁止

コードタイプとデコード規定

CODE 128



* Code 128 許可



Code 128 禁止



UCC/EAN-128 'C1' コード・フォーマット許可 -
128 クーポン・コードは 15 ページのセクション B 参照。



* UCC/EAN - 128 'C1' コード・フォーマット禁止



Code 128 キャラクタ無視



* 拡張 ASCII キャラクタを決定するために<FNC4>を使用
する

CODE 39



* Code 39 許可



Code 39 禁止



MOD 43 チェックの Code 39 許可 - スキャナは Code 39
で正式なモジュラス 43 のチェック・ディジットがついて
いるバーコードのみ読取ります。



* MOD 43 チェックの Code 39 禁止



Full ASCII Code 39 許可



* Full ASCII Code 39 の禁止

コードタイプとデコード規定

CODE 39



PARAF (イタリアの薬局コード) サポート許可 - スキャナは Code 39 を PARAF フォーマットに変換します。



* PARAF サポート禁止



* PARAF コードのみ有効



PARAF の他のコードも有効



TRI-OPTIC コード許可



* TRI-OPTIC コード禁止



* 標準 Code 39 フレーム使用



5 つの複数バーなしで Code 39 コードを試みる



ITF/Code 39 フィルタ許可



* ITF/コード 39 フィルタ禁止



セルフ・サービス・ライブラリ Code 39 許可



* セルフ・サービス・ライブラリ Code 39 禁止



MOD 43 チェック・ディジット転送 - セルフ・サービス・ライブラリ Code 39



* MOD 43 チェック・ディジット転送なし - セルフ・サービス・ライブラリ Code 39

コードタイプとデコード規定

2 of 5 コード



* インターリブド 2 of 5 (ITF)許可



インターリブド 2 of 5 (ITF)禁止



ITF の MOD 10 チェック許可 - これを有効にすると、スキャナはモジュラス 10 のチェック・ディジットの入ったインターリブド 2 of 5 (ITF) バーコードのみ読取る。



* ITF の MOD 10 チェック禁止



ITF Null キャラクタを有効



* ITF Null キャラクタを無効



~ ITF 読取コード桁数固定 1 - 最初の ITF 読取可能桁数の固定を指定するには、このバーコードと、66 ページの適切なコード・バイト・シーケンスを読取ります。



~ ITF 読取コード桁数固定 2 - 第 2 の ITF 読取可能桁数の固定を指定するには、このバーコードと、66 ページの適切なコード・バイト・シーケンスを読取ります。



~ ITF 読取コード最小桁数 - デコードする最少 ITF 桁数を指定するには、66 ページの適切なコード・バイト・シーケンスを読取ります。



代替 ITF 第 1 バー・リファレンス



* 標準 ITF 第 1 バー・リファレンス

コードタイプとデコード規定

2 OF 5 コード



スタンダード 2 of 5 許可



* スタンダード 2 of 5 禁止



~ スタンダード 2 of 5 読取桁数 - デコードする最少桁数を指定するには、このバーコードと、66 ページの適切なコード・バイト・シーケンスを読取ります。



マトリックス 2 of 5 許可



* マトリックス 2 of 5 禁止



マトリックス 2 of 5 チェック・ディジット要求許可



* マトリックス 2 of 5 チェック・ディジット要求禁止



15 桁エアライン 2 of 5 許可



* 15 桁エアライン 2 of 5 禁止



13 桁エアライン 2 of 5 許可



* 13 桁エアライン 2 of 5 禁止



ホンコン 2 of 5 許可



* ホンコン 2 of 5 禁止

コードタイプとデコード規定

CODABAR



* Codabar 許可



Codabar 禁止



デュアル・フィールド Codabar 許可



* デュアル・フィールド Codabar 禁止

CODE 93



* Code 93 許可



Code 93 禁止

CODE 11



Code 11 許可



* Code 11 禁止



* 1桁 Code 11 チェック・ディジットのチェック



2桁 Code 11 チェック・ディジットのチェック



* 2桁 Code 11 チェック・ディジットをチェックしない



コード読取桁数が 10 キャラクタより大きい場合に 2 桁
Code 11 チェック・ディジットをチェックする

コードタイプとデコード規定

テレベン



テレベン 許可



* テレベン 禁止



ALPHA テレベン 許可



* ALPHA テレベン 禁止

PLESSEY コード



MSI Plessey 許可



* MSI Plessey 禁止



* MSI Plessey チェック・ディジットなし - Plessey バーコードのチェック・ディジットをテストしません。



MSI Plessey MOD 10/10 チェック・ディジット許可 - これは MSI Plessey の 2 桁モジュラス 10 チェック・ディジットを確認します。



* MSI Plessey MOD 10/10 チェック・ディジット禁止 - これは MSI Plessey の 1 桁モジュラス 10 チェック・ディジットを確認します。



UK Plessey 許可



* UK Plessey 禁止



UK Plessey A から X に変換許可



* UK Plessey A から X に変換禁止

コードタイプとデコード規定

PLESSEY コード



* 標準 Plessey ストップ・キャラクタ



不良 Plessey ストップ・キャラクタ受入

追加デコード設定項目



ダブル・ボーダー要求/インターキャラクタ・スペース許可



* ダブル・ボーダー要求/インターキャラクタ・スペース禁止



細ボーダー要求許可



* 細ボーダー要求禁止



~ 最小読取コード桁数 - 単一ラインのデフォルトは3です。UPC/EAN 以外のバーコードの最小読取コード桁数を指定する際、このコードと66 ページの適当なコード・バイトを併用してください。



~ 読取コード桁数の固定 - このコードと適当なコード・バイトを組み合わせると、読取コードの桁数を固定します。



バー/スペース・カウントに対するモジュラス 8 フィルタ許可



* バー/スペース・カウントに対するモジュラス 8 フィルタ禁止



Code 39 不良ボーダー処理



* Code 39 不良ボーダー禁止

コードタイプとデコード規定

設定可能な読取桁数

最大 7 つまで読取可能な固定桁数があり、バーコード・タイプの固定桁数を指定できます。
設定モード時に、次のことを行います。

1. 読取コード固定 #1: 桁数バーコードを読取ります。
2. コード読取桁数を表す66ページの3つのコード・バイトを読取ります。
3. 対応する読取コード固定 #1: コード・タイプのバーコードを読取ります。
4. コード・タイプを表す3つのコード・バイトを読取ります。

この手順は読取桁数固定 #2 から #7 まで繰り返すことができます。



~ 読取コード固定 #1: 桁数



~ 読取コード固定 #1: コード・タイプ



~ 読取コード固定 #2: 桁数



~ 読取コード固定 #2: コード・タイプ



~ 読取コード固定 #3: 桁数



~ 読取コード固定 #3: コード・タイプ



~ 読取コード固定 #4: 桁数



~ 読取コード固定 #4: コード・タイプ



~ 読取コード固定 #5: 桁数



~ 読取コード固定 #5: コード・タイプ

コードタイプとデコード規定

設定可能な読取桁数



~ 読取コード固定 #6: 桁数



~ 読取コード固定 #6: コード・タイプ



~ 読取コード固定 #7: 桁数



~ 読取コード固定 #7: コード・タイプ



日本語マルチ・フィールド許可



日本語マルチ・フィールド禁止

サブメント



2桁サブメント 許可



* 2桁サブメント 禁止



* 2桁・2回一致 許可 - バーコードおよび2桁アド・オンを読み取り、データが2回一致した後にデータを受け入れます。



2桁・2回一致 禁止



5桁サブメント 許可



* 5桁サブメント 禁止



5桁・2回一致 許可 - バーコードおよび5桁アド・オンを読み取り、データが2回一致した後にデータを受け入れます。



* 5桁・2回一致 禁止



サブメント要求 - すべてのUPC/EANラベルはサブメントを要求します。



* サブメント不要



リモート・サブメント要求 許可 - MS9500 と MS6200 はサポートされていません。



* リモート・サブメント要求 禁止 - MS9500 と MS6200 はサポートされていません。



Bookland (978) サブメント要求 許可



* Bookland (978) サブメント要求 禁止

サブメント



977 (2 桁) サブメント要求 許可 - 977 で始まる
EAN-13 コードはすべて 2 桁サブメントを要求しま



* 977 (2 桁) サブメント要求 禁止



378/379 French サブメント要求 許可



* 378/379 French サブメント要求 禁止



414/419 German Bookland サブメント要求 許可



* 414/419 German Bookland サブメント要求 禁止



434/439 German サブメント要求 許可



* 434/439 German サブメント要求 禁止



#System 2 はサブメントを要求 許可



* #System 2 はサブメントを要求 禁止



UPC #System 5 はサブメントを要求 許可



* UPC #System 5 はサブメントを要求 禁止



* 37x、43x、または UPC # System 5 による 2 桁サブメント 許可



37x、43x、または UPC # System 5 による 2 桁サブメント禁止

サブメント



* 37x、43x、または UPC # System 5 による 5 桁サブメント 許可



37x、43x、または UPC # System 5 による 5 桁サブメント 禁止



クーポン Code 128 許可



* クーポン Code 128 禁止



Code 128 'J' C1' 拡張コード・フォーマット 許可 - スキャナは「J C1」キャラクタをクーポン Code 128 の前頭に転送する。



* Code 128 'J' C1' 拡張コード・フォーマット 禁止



Code 128 グループ・セパレータ 許可 - “GS” (1DH) キャラクタがクーポン Code 128 に転送される。



* Code 128 グループ・セパレータ 禁止



サブメント確認に 400msec 時間かかる - このオプションで UPC/EAN を読取った後、アド・オンのチェックに 400 msec の時間がかかります。



サブメント確認に 200msec 時間かかる - このオプションで UPC/EAN を読取った後、アド・オンのチェックに 200 msec の時間がかかります。



* サブメント確認に 100msec 時間かかる - このオプションで UPC/EAN を読取った後、アド・オンのチェックに 100 msec の時間がかかります。

サブメント



サブメントのコード ID 許可



* サブメントのコード ID 禁止



* サブメントのビーブ音 1 回



サブメントのビーブ音 2 回



ISBN チェック・ディジット転送 許可 - このオプションはすべてのモデルには適用しません。



ISBN チェック・ディジット転送 禁止



Bookland から ISBN に変換 許可 - このオプションはすべてのモデルには適用しません。



* Bookland から ISBN に変換 禁止



ISBN 再フォーマット 許可



* ISBN 再フォーマット 禁止



CodeGate ボタンが押されたときにサブメント禁止 - MS9540 スキャナの場合にのみ使用可能です。標準または非標準で CodeGate が非アクティブであることが必要です。



* CodeGate がサブメントの読取に影響しない - MS9540 スキャナの場合にのみ使用可能です。



EAN-13 コードを読取ってすぐの場合にサブメント・チェックなし



* 標準サブメント・チェック

RSS バーコード実装

Metrologic社のソフトウェア#14810 以降を含むMS9520 Voyager®/MS9540 VoyagerCG®リーダー・スキャナでは、RSSタイプ・コードを読取る設定が可能です。



XT キーボードは、ソフトウェア#14810 以降を含む標準ソフトウェア・リリースでサポートされなくなりました。アプリケーションで XT キーボードが必要な場合、ソフトウェア#14806 以前が必要です。詳細なサポートについては、Metrologic 社（1-800-ID-METRO）までお問い合わせください。



ダブルボーダー要求 - RSS バーコードを読取る場合、RSS シンボル内に広いスペースが含まれることが多いために、ダブル・ボーダー要求を許可することをお勧めします。



RSS 14 許可



* **RSS 14 禁止**



* **RSS 14 チェック・ディジットを転送する**



RSS 14 チェック・ディジットを転送しない



***RSS 14 アプリケーション ID を転送する** - デフォルトではアプリケーション ID 「01」が転送されます。



RSS 14 アプリケーション ID を転送しない



* **RSS 14 シンボル ID を転送する** - デフォルトではシンボル ID 「je0」が転送されます。



RSS 14 シンボルを転送しない

RSS バーコード実装

RSS 制限バーコード



RSS 制限許可



* RSS 制限禁止



* RSS 制限 CD 転送



RSS 制限 CD を転送しない



* RSS 制限アプリケーション ID 転送 - デフォルトではアプリケーション ID 「01」が転送されます。



RSS 制限アプリケーション ID を転送しない



* RSS 制限シンボル ID 転送 - デフォルトではシンボル ID 「je0」が転送されます。



RSS 制限シンボル ID を転送しない

RSS 拡張バーコード



拡張 RSS 許可



* 拡張 RSS 禁止



* RSS 拡張シンボル ID 転送 - デフォルトではシンボル ID 「je0」が転送されます。



RSS 拡張シンボル ID を転送しない

ISBT コード 128 実装

設定モード・バーコード



ISBT コード 128 許可



ISBT コード 128 禁止

これらのバーコードは、ISBT-128 仕様のセクション 3.5.2 に記載されているような特別転送モードを許可/禁止するために使用します。この出力方式では、ユーザーが Code-128 チェック・ディジットの正確さを独立して確認できます。



ISBT 特別転送許可



ISBT 特別転送禁止

これらのバーコードを使用して、ISBT コード 128 データ ID の転送を禁止できます。このオプションを選択した場合、読取られた ISBT バーコードに提供者 ID 番号が含まれない場合に、最初の 2 つのデータ・キャラクタがデータ・ストリーム (ID キャラクタ) から削除されます。この場合、最初の ID キャラクタのみが提供者 ID 番号から削除されます。第 2 のキャラクタは標準のデータと見なされます。



ISBT ID を転送しない



* ISBT ID を転送する

これらのバーコードは、フラグ・ディジットにチェック・ディジットが含まれる場合に、提供者 ID 番号のフラグ・ディジットからモード 37 の 2 チェック・ディジットを変換、転送するために使用します。単一のチェックサム・キャラクタに変換される最後の 2 つのディジットを除いて、提供者 ID 番号の転送の場合も同じです。



フラグ・ディジットを Mod 37, 2 CD に変換する



* 標準フラグ・ディジットを転送しない

ISBT コード 128 実装

連結プログラム・モード・バーコード

MS9500 シリーズのみでサポートされます。

次のバーコードは、ISBT 連結シーケンスの第 2 バーコードを検索するために使用する可変時間要求をプログラムします。



連結シーケンスの検索に 100msec をかける



連結シーケンスの検索に 200msec をかける



連結シーケンスの検索に 300msec をかける



連結シーケンスの検索に 400msec をかける



連結シーケンスの検索に 500msec をかける



連結シーケンスの検索に 600msec をかける



連結シーケンスの検索に 700msec をかける

事前定義済み連結プログラム・モード・バーコード

MS9500 シリーズのみでサポートされます。

最初の 2 つのバーコードは、事前定義済み連結シーケンスを許可/禁止するために使用します。その他のバーコードは、特別な連結シーケンスを許可するためのもので、連結を許可するためには必要ではありません。選択した事前定義済み連結シーケンスの禁止および再許可のためにこれらのバーコードを使用できます。



事前定義済み連結シーケンス許可



事前定義済み連結シーケンス禁止



提供者 ID 番号 + AB0/Rh (D) 血液型 = á + = % 連結



提供者 ID 番号 + 提供者 ID 番号 = á + & ; 連結

ISBT コード 128 実装

事前定義された連結プログラム・モード・バーコード



提供者 ID 番号 + 機密ユニット除外状態 =á + &! 連結



製品コード + 有効期限 (形式 1)
=< + =>連結



製品コード + 有効期限 (形式 2)
=< + &>連結



製品コード + 有効期限 (形式 3)
&< + ==>連結



製品コード + 有効期限 (形式 4)
&< + &>連結

ユーザー定義された連結プログラム・モード・バーコード

MS9500 シリーズのみでサポートされます。

最初の 2 つのバーコードは、ユーザー定義された連結シーケンスを許可/禁止するために使用します。その他のバーコードは、連結シーケンス内のユーザー定義 ID を入力するために使用します。これらのバーコードでは、ユーザーが最初にプログラム・モードに入ることが必要です。次に、適切なコードを読取った後、目的の ID を入力するコード・バイトの使用規定に従います。



ユーザー定義シーケンス許可



ユーザー定義シーケンス禁止



1 番目の左 ID



2 番目の左 ID



1 番目の右 ID



2 番目の右 ID

ISBT コード 128 実装

MS9500 シリーズのみでサポートされます。

次の例は、ユーザー定義 ISBT ID をプログラムする方法を示しています。

左側の ID が ISBT に定義された提供者 ID 番号「=G」であり、右側の ID が各国固有の ID 「&a」である場合を考えます。

1. ENTER/EXIT プログラミング・モード・バーコードを読取ります。
2. 1 番目の左 ID プログラミング・モード・バーコードを読取ります。
3. (コード・バイト 0)+(コード・バイト 6)+(コード・バイト 1)を読取ります
4. 2 番目の左 ID プログラミング・モード・バーコードを読取ります。
5. (コード・バイト 0)+(コード・バイト 7)+(コード・バイト 1)を読取ります。
6. 1 番目の右 ID プログラミング・モード・バーコードを読取ります。
7. (コード・バイト 0)+(コード・バイト 3)+(コード・バイト 8)を読取ります。
8. 2 番目の右 ID プログラミング・モード・バーコードを読取ります。
9. (コード・バイト 0)+(コード・バイト 9)+(コード・バイト 7)を読取ります。
10. ユーザー定義シーケンス・バーコード許可を読取ります。
11. ISBT 許可バーコードを読取ります。
12. ENTER/EXIT プログラミング・モード・バーコードを読取ります。

これで、スキャナは適切な ID でプログラミングされました。ISBT およびユーザー定義の連結がともに許可されているので、これらの ID を含む ISBT 128 バーコードを連続して読取ると、それらが連結されます。

ISBT 仕様のセクション 4.8.1 に記載された代替方式をユーザー定義連結シーケンスのプログラミングで使用できます。前述の例に従って単一のプログラミング・モード・バーコードに ID をプログラムできます。次のバーコードは、ユーザー定義の連結を許可/禁止するために使用できます。

(Left, =G) + (Right, &a) 許可



(Left, =G) + (Right, &a) 禁止



これらのプログラミング・モード・バーコードは、Metrologic 社のプログラミング・モード・バーコードの標準セットとは異なり、単一コードのプログラミング・モードでのみ使用できます。マルチ・コード・プログラム・モードでは、これらのバーコードは認識されません。

連結の 2 つの形式（事前定義シーケンスとユーザー定義シーケンス）は、いつでも許可できます。コード選択および ISBT Code-128 連結は、同時に使用できません。両機能は同一の内部リソースを使用するため、相互に排他的であることが必要です。

通信



ライト・ペン/ワンド通信許可 - スキャナがライトペンの代わりに使われる場合、このオプションを選んでください。



* **RS-232 許可** - このオプションを有効にした場合、スキャナは RS-232 +/- 12V のシリアル出力となります。



キーボード・ウェッジ・デフォルトのロード - 通常もしくは独立ウェッジ・モードを選択する前にこのオプションを読み取ってください。



独立キーボード・スキャナ 許可 - 外付キーボードがない時に、スキャナは使用可能です。



キーボード・ウェッジ・エミュレーション 許可 - スキャナのバーコード・データを PC の読取コード・データに変換するキーボード・エミュレーションを選ぶ時に選択します。



OCIA デフォルトのロード - OCIA 出力を有効にする前に、このメニューを読み取ってください。



OCIA 出力 許可 - 通信に OCIA を要する場合、このオプションを選びます。ホスト側はシリアル・インターフェースとなります。



IBM 46xx デフォルトのロード



IBM 46xx 通信 許可 - IBM 46xx SIOC/RS485 通信の場合、このオプションを選んでください。すべてのスキャナはこのオプションをサポートしていないので適切なインターフェース・ボードが必要。



非通信モード許可 - スキャナがホスト装置とのインターフェースを持たない場合、このオプションを選択します。



予約済み



予約済み

スキャナの動作

設定モード・オプション



パワーアップ時に、**設定モード 許可** – スキャナは、バーコードを読取る前にのみ MetroSet モードに入ります。



* **常時、設定モード 許可** – 常時、MetroSet の設定ができます。



パワーアップ時に、**設定コード 許可** – パワーアップ後に一般商品のバーコードが読取られると、スキャナは設定用バーコードを受け付けません。



* **常時、設定コード 許可** – 常時、設定バーコードを読取ることができます。

読取バッファ



* **1 読取バッファ** - これを有効にすると、読取フィールドのバーコードのみを読取り同一シンボル・タイムアウトの時間内は読取りフィールドからそれを除去しない限り再び読取ることはありません。



2 読取バッファ - スキャナは、1 回ごとに読取フィールドの 2 つのバーコードを読取ります。この 2 つのバーコードは、再度読取られることはありません。また、同一のシンボル・タイムアウト期間に、この 2 つのバーコードが読取フィールドから削除されるまで、読取られることはありません。



3 読取バッファ - 2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには 3 個のバーコードがあります。



4 読取バッファ - 2 読取バッファと同じ機能です。読取りフィールドには 4 個のバーコードがあります。

スキャナの動作

2 回一致読取



* 2 回一致読取なし - 「正常読取」には 1 回の正常読取が必要。



2 回一致読取 - 「正常読取」には 2 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。



3 回一致読取 - 「正常読取」には 3 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。



4 回一致読取 - 「正常読取」には 4 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。



5 回一致読取 - 「正常読取」には 5 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。



6 回一致読取 - 「正常読取」には 6 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。



7 回一致読取 - 「正常読取」には 7 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。



8 回一致読取 - 「正常読取」には 8 回の同じバーコードの連続的な正常読取が必要。

他のデコード設定項目



* オプション同一シンボル・チェック - 「新しい」バーコード・データと見なすためには、連続読取の期間中に 1 個の違ったデータのバーコードが必要です。



通常の同一シンボル・チェック - 「新しい」バーコード・データと見なすためには、連続読取の期間中に 3 個の違ったデータのバーコードが必要です。

スキャナの動作

同一シンボル・タイムアウト

読取フィールドからバーコードが取り除かれた後に再度同じバーコードを読取るまでの時間は、50 msec の増分で 6350 msec (6.35sec) までユーザー設定可能です。

MS9500 シリーズまたは IS4120FL シリーズを使用の際は、75ページを参照してください。



~ 可変の同一シンボル・タイムアウト - 設定モード時、このバーコードと66 ページの適切なコード・バイトシーケンスを読取り、同一シンボル・タイムアウトの時間を設定します。この設定は、MS9500 または IS4120FL ではサポートされません。詳細については、81 ページを参照してください。



同一シンボル・タイムアウトなし



同一シンボル・タイムアウトが無限 - これを選択すると、スキャナは別のバーコードを読取るまで同じバーコードは読取りません。このオプションは同一の再読取タイムアウトを無視します。



2秒タイムアウト許可 - 2秒間の非アクティブ状態の経過後に、レーザーがオフになり、CodeGate ボタンが押されるまでオフの状態を維持します。この設定は、MS5145のみで使用できます。



2秒タイムアウト禁止

LED オプション



再読取が可能な場合、緑色の LED をフラッシュする - これは同一シンボル・タイムアウトが経過したことを示します。



* 再読取が可能な場合、LED をフラッシュしない



逆表示 LED 機能 - 赤色 = レーザー On
緑色 = 正常読取



* 通常表示 LED 機能 - 緑色 = レーザー On
赤色 = 正常読取

スキャナの動作

ビーブ音オプション



* 通常の音調



音調 1



音調 2



音調 3



音調 4



音調 5



音調 6



ビーブ音なし



* サブルメントにビーブ音 1 回



サブメントにビーブ音 2 回



高速ビーブ音 許可



* 高速ビーブ音 禁止



BEL コマンド受信時にビーブ音 - ホストから BEL キャラクタを受信するとスキャナはビーブ音を鳴動します。BEL キャラクタの前に 200 msec 以内に数字が送信された場合、スキャナはその数字の数だけビーブ音を鳴動します。

スキャナの動作

ビーブ音オプション



* BEL コマンド無視



ビーブ音鳴動中にライトペン・トグル許可 - 正常読取した場合、スキャナはビーブ音を鳴動し、ライトペン・データ・ラインをトグルします。これは正常読取の表示です。



* ビーブ音鳴動中にライトペン・トグル 禁止



パススルー許可



パススルー禁止



パススルー・データでビーブ音



* パススルー・データでビーブ音なし



レコード・カウント・キャプチャ許可



* レコード・カウント・キャプチャなし



レコード・カウント転送

スキャナの動作

データ送信ディレー

これらのコードを使用して、スキャナからホストへのデータ・キャラクタの送信間のディレー時間を選択します。これは、スキャナでのホスト入力バッファのオーバーフローを防止するために役立ちます。



* 1 msec インターキャラクタ・ディレー



10 msec インターキャラクタ・ディレー



25 msec インターキャラクタ・ディレー



~ 可変インターキャラクタ・ディレー - このバーコードと（66 ページの）コード・バイト・シーケンスを読取ることにより、ホスト・システムに送信されるキャラクタ間のディレー（1～255 msec の範囲）を設定します。



インターキャラクタ・ディレーなし



~ 可変インター・レコード・ディレー



インター・レコード・ディレーの間レーザー光を発信しない



* インター・レコード・ディレーの間レーザー光を発信する

スキャナの動作

通信タイムアウト・オプション



通信タイムアウト 許可



* 通信タイムアウト 禁止



* データ転送前にピープ音鳴動



データ転送後にピープ音鳴動



~ 可変通信タイムアウト



* デフォルト通信タイムアウト（2 秒）



短期間の通信タイムアウト（1 秒）



長期間の通信タイムアウト（4 秒）



タイムアウト時にピープ音を 3 回鳴動



* タイムアウト時にピープ音なし



タイムアウト時にラズベリー音を鳴動



* タイムアウト時にラズベリー音なし

スキャナの動作

ホスト・スキャナのコマンド



D/E 無効コマンド 許可 - このオプションを選択し、ホストから ASCII “D” を受信するとスキャナは読取を無効にします。ASCII “E” を受信すると読取が有効になります。



* D/E 無効コマンド 禁止



Z/R タイプ D/E シミュレーション 許可 - このオプションを選択し、ホストから ASCII “Z” を受信するとスキャナは読取を無効にします。ASCII “R” を受信すると読取が有効になります。



* Z/R タイプ D/E シミュレーションなし



F/L レーザー・コマンド 許可 - このオプションを選択し、ホストから ASCII “F” キャラクタを受信するとレーザー光がオフになります。ASCII “L” キャラクタを受信するとレーザー光はオンになります。



* F/L レーザー・コマンド禁止



DTR 読取使用禁止 - スキャナは、読取を許可するかどうかを決定するために DTR 入力を監視します。+12V 「アクティブ」レベルによりデコードが許可されます。-12V 「非アクティブ」レベルによりデコードが禁止されます。



* DTR 読取禁止を使用しない - DTR 入力を監視しません。



DC2 キャラクタでアクティベートする - DC2 キャラクタ (^R, 124) の受信時に読取を開始します。



* DC2 キャラクタでアクティベートしない



RS232 経由での「I」(49H) の受信時に「METROLOGIC」を転送する



* RS232 経由での「I」(49H) の受信時に「METROLOGIC」を転送しない

スキャナの動作

ホスト・スキャナのコマンド



RS232 経由での「i」(69H)の受信時にスキャナ ID バイトを転送する - ID バイトは 3 バイト (つまり 0、0、1) で転送されます。



* RS232 経由での「i」(69H)の受信時にスキャナ ID バイトを転送しない



DC2 受信時に NO READ を送信する



* DC2 受信時に NO READ を送信しない



NO READ 送信時に、緑色の LED なし



* NO READ 送信時に、緑色の LED なし



シリアル番号転送



モーターのオン/オフ・コマンド許可



* モーターのオン/オフ・コマンド禁止



RS232 受信禁止



標準 RS232 受信



Banco 制御モード許可



Banco 制御モード禁止

スキャナの動作

テスト・モード



スキャナビリティーON - このオプションは読取が可能なかどうかのテスト・モードです。Metrologic 社のレップの指示なくして有効にしないでください。



* **スキャナビリティーOFF**



読取カウント・モード ON - このオプションを有効にすると、スキャナは読取カウント・テスト・モードに入り、スキャナの製品番号がホストに送信されます。Metrologic 社のレップの指示なくして有効にしないでください。



* **読取カウント・モード OFF**

接頭詞/接尾詞



この設定項目を選ぶ前に（2ページの「マルチ・コード方式」を参照）、
「IN/OUT 設定モード」を読取ってください。

ユーザー設定可能な接頭詞、すべてのデータ



～ 設定可能な接頭詞 #1 - このオプションを選択すると、接頭 ID を付加してデータを送信できます。付加したいキャラクタが記載されている66ページの3コード・バイト・シーケンスを指定してください。



～ 設定可能な接頭詞 #2 - 2 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #3 - 3 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #4 - 4 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #5 - 5 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #6 - 6 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #7 - 7 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #8 - 8 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #9 - 9 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



～ 設定可能な接頭詞 #10 - 10 番目の設定可能な接頭詞キャラクタを付加します。



* すべての設定可能な接頭詞クリアする

接頭詞/接尾詞

ユーザー設定可能 ID キャラクタ、コード別



1 0 5 5 0 7

* 設定可能なコード ID バイトを接頭詞として使用 - ユーザーが設定可能な、コード別 ID バイトはデータの前に送信されます。これを接頭詞として使えば、接尾詞は使えません。



1 0 5 5 1 7

設定可能なコード ID バイトを接尾詞として使用 - ユーザーが設定可能な、コード別 ID バイトはデータの後に送信されます。これを接尾詞として使えば、接頭詞は使えません。

‡ マルチ・コード方式を使用の際、このバーコードを最初に読み取り、このバーコードと関連している独特の ID キャラクタを表している 66 ページの 3 コード・バイトのバーコードを読み取ります。



9 0 5 6 0 0

~ UPC-A ID 設定 ‡



9 0 5 7 0 0

~ UPC-E ID 設定 ‡



9 0 5 6 0 0

~ EAN-8 ID 設定 ‡



9 0 5 9 0 0

~ EAN-13 ID 設定 ‡



9 0 6 0 0 0

~ Code 39 ID 設定 ‡



9 0 6 1 0 0

~ Code 128 ID 設定 ‡



9 0 6 3 0 0

~ Code 93 ID 設定 ‡



9 0 6 4 0 0

~ Code 11 ID 設定 ‡



9 0 6 2 0 0

~ Telepen ID 設定 ‡

接頭詞/接尾詞

ユーザー設定可能 ID キャラクタ、コード別

‡ マルチ・コード方式を使用の際、このバーコードを最初に読取り、このバーコードと関連している独特の ID キャラクタを表している66ページの3コード・バイトのバーコードを読取ります。



~ TRI-OPTIC ID 設定 ‡



~ スタンダード 2 of 5 ID 設定 ‡



~ インターリブド 2 of 5 ID 設定 ‡



~ マトリックス 2 of 5 ID 設定 ‡



~ Airline 2 of 5 ID 設定 ‡



~ MSI Plessey ID 設定 ‡



~ UK Plessey ID 設定 ‡



~ Codabar ID 設定 ‡



* すべての設定可能な特別 ID をクリアする - 以前に確認された一意の ID キャラクタをすべてクリアします。



Teraoka ID 許可



* Teraoka ID 禁止



Taiwan 7-11 ID 許可



* Taiwan 7-11 ID 禁止

接頭詞/接尾詞

標準の接頭詞キャラクタ



STX 接頭詞 許可 - これを有効にすれば、スキャナは Start of TeXt (ASCII 02H)を各バーコード・データの前に付加して転送します。



* **STX 接頭詞禁止**



Rochford-Thomson モード許可



* **Rochford-Thomson モード禁止**



AIM ID キャラクタ許可



* **AIM ID キャラクタ禁止**



UPC 接頭 ID 許可 - これを有効にすれば、スキャナは UPC/EAN の前に接頭詞を付加してデータを転送します。接頭詞は A (UPC-A)、E0 (UPC-E)、F (EAN-13)、それに FF (EAN-8)です。



* **UPC 接頭 ID 禁止**



NCR 接頭 ID 許可 - これを有効にすれば、スキャナは下記のコード体系に接頭詞を付加してデータを転送します。(UPC-A)、E0 (UPC-E)、FF (EAN-8)、F (EAN-13)、B1 (Code 39)、B2 (ITF)そして B3 (Code 128 と他のコード)



* **NCR 接頭 ID 禁止**



Nixdorf ID キャラクタ 許可 - これを有効にすれば、Siemen/Nixdorf レジスター用の確認コードをバーコードの前に付加してデータを転送します。



* **Nixdorf ID キャラクタ 禁止**

接頭詞/接尾詞

標準の接頭詞キャラクタ



SANYO ID キャラクタ 許可



* SANYO ID キャラクタ 禁止



製造者 ID 接頭詞 許可 - スキャナ・メーカーを確認するために「METROLOGIC」をバーコード・データの前に付加して転送します。



* 製造者 ID 接頭詞 禁止



C 接頭詞 許可



* C 接頭詞 禁止



UPC/EAN の「\$」接頭 ID 許可



* UPC/EAN の「\$」接頭 ID 禁止



Tab 接頭詞 許可 - スキャナは TAB (ASCII 09H) をバーコード・データの前に付加して転送します。



* Tab 接頭詞 禁止



SNI Beetle モード 許可



* SNI Beetle モード 禁止



Cipher 1021 ID 許可



* Cipher 1021 ID 禁止

接頭詞/接尾詞

標準の接尾キャラクタ



* **CR 接尾詞 許可** - これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に CR を付加します。



CR 接尾詞 禁止



* **LF 接尾詞 許可** - これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に LF を付加します。 *キーボード・ウェッジ・デフォルトが入っている場合は無効になります。*



LF 接尾詞 禁止



TAB 接尾詞 許可 - これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に TAB (ASCII 09H)を付加します。



* **TAB 接尾詞 禁止**



ETX 接尾詞 許可 - これを有効にすると、スキャナはバーコード・データの後に End of TeXt(ASCII 03H)を付加します。



* **ETX 接尾詞 禁止**



UPC 接尾 ID 許可 - これを有効にすると、スキャナは UPC/EAN コードの後に接尾詞を付加します。 その内容は、(UPC-A)、E (UPC-E)、F (EAN-13)それに F (EAN-8)です。



* **UPC 接尾 ID 禁止**



Tec 7-11 ID 許可



* **Tec 7-11 ID 禁止**

接頭詞/接尾詞

データ長の 2 回一致チェック

データ長の 2 回一致チェック (LRC: Longitudinal Redundancy Check) は、データ・キャラクタ・シーケンス全体にわたって計算されるエラー・チェック・キャラクタです。LRC は、チェックするキャラクタを初期値 00H から XOR (排他的論理和) 演算することにより決定します。

その結果、データ・ストリームの後「LRC バイト」が転送されます。受信コンピュータは情報が正しく受信したかどうかを決定するために「LRC バイト」を使用します。スキャナの場合、パリティ・ビットの付加前に XOR が実行されます。

LRC を許可すると、スキャナのデフォルトでは転送情報の 2 番目のバイトから LRC が開始されます。任意選択で、転送される最初のバイトから計算を開始できます。



LRC 計算の送信許可 - このオプションを選ぶと、スキャナはバーコード・データの後に LRC チェック・キャラクタを出力します。



* **LRC 計算の送信禁止**



* **LRC を最初のバイトから始める** - T スキャナは LRC チェック・ディジットを最初のキャラクタから計算し始めます。



LRC を 2 番目のバイトから始める - スキャナは LRC チェック・ディジットを 2 番目のキャラクタから計算し始めます。

キャラクタの置換

キャラクタを置換するには

1. 2 ページの「設定モード IN/OUT」のバーコードを読取ります。
2. コードを置換するキャラクタを読取ります (以下を参照)。
3. 置換するキャラクタの ASCII コード・バイト値を読取ります (このマニュアルの「コード・バイトの使用」セクションの ASCII 参考表を参照してください)。
4. 置換キャラクタのバーコードを読取ります (以下を参照)。
5. 置換キャラクタの ASCII コード・バイト値を読取ります。
6. 2 ページの「設定モード IN/OUT」のバーコードを読取ります。



~ **置換するキャラクタ**



~ **置換キャラクタ**



置換なし

接頭詞/接尾詞

ユーザーが設定可能な接尾詞、すべてのデータ

Note: この設定項目を選ぶ前に「IN/OUT 設定モード」を読取ってください。また、2 ページのマルチ・コード方式を参照してください。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#1 - これを選択すると、接尾 ID がデータに付加され送信されます。このコードと66 ページの記載の3コード・バイト・シーケンスを併用して使ってください。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#2 - 2番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#3 - 3番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#4 - 4番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#5 - 5番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#6 - 6番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#7 - 7番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#8 - 8番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#9 - 9番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



~ 設定可能な接尾キャラクタ#10 - 10番目の設定可能な接尾キャラクタを指定します。



* ユーザー設定可能な接尾詞をすべてクリアする

接頭詞/接尾詞

特別フォーマット



SINEKO モード 許可



* SINEKO モード 禁止



Newcode フォーマット・モード A 許可



* Newcode フォーマット・モード A 禁止



Newcode フォーマット・モード B 許可



* Newcode フォーマット・モード B 禁止



先頭の 0 をすべて削除する



* 先頭の 0 をすべて削除しない



MS951 CAPS ロック許可



* MS951 CAPS ロック禁止



HCA 解析許可



HCA 解析禁止

コード・フォーマット

UPC/EAN フォーマット



* UPC-A チェック・ディジットを転送する



UPC-A チェック・ディジットを転送しない



UPC-E チェック・ディジットを転送する



* UPC-E チェック・ディジットを転送しない



UPC-E を 12 桁に拡張する - UPC-E コードを 12 桁と同等の UPC-A コードに拡張する。



* UPC-E を 12 桁に拡張しない



* 拡張 UPC E でナンバー・システムを送信



拡張 UPC E でナンバー・システムを送信しない



GTIN フォーマット許可



* GTIN フォーマット禁止



UPC-A を EAN-13 に変換する - このオプションが選択されたら、スキャナは UPC-A を 先頭「0」を付加し EAN-13 に変換しデータは転送されます。



* UPC-A を EAN-13 に変換しない

コード・フォーマット

UPC/EAN フォーマット



UPC-E に先頭「0」を付加する - これが選ばれたら、UPC-E バーコードの先頭に「0」を付加してデータが転送されます。



* UPC-E に先頭「0」を付加しない



EAN-8 を EAN-13 に変換する - これが選ばれたら、スキャナは EAN-8 の先頭に「0」を 5 個付加して EAN-13 と同等の 13 桁でデータが転送されます。



* EAN-8 を EAN-13 に変換しない



* UPC-A ナンバー・システムを転送する



UPC-A ナンバー・システムを転送しない



* UPC-A MFR #を転送する



UPC-A MFR #を転送しない



* UPC-A アイテム・ナンバーを転送する



UPC-A アイテム・ナンバーを転送しない



* EAN-8 チェック・ディジットを転送する



EAN-8 チェック・ディジットを転送しない



* EAN-13 チェック・ディジットを転送する - スキャナは、EAN-13 チェック・ディジットを転送します。



EAN-13 チェック・ディジットを転送しない

コード・フォーマット

CODABAR (NW-7)フォーマット



NW-7 のスタート/ストップ・キャラクタを転送する -
NW-7 のスタート/ストップ・キャラクタをバーコード・
データの前後に転送します。



* NW-7 のスタート/ストップ・キャラクタを転送しない



CLSI 編集 許可 - NW-7 の 14 桁のデータのみ有効。この
オプションはホストにデータを転送する前に CLSI 編集を
行います。



* CLSI 編集 禁止



Codabar Mod-16 チェック・ディジット許可



* Codabar Mod-16 チェック・ディジット禁止



Codabar 「7 チェック」 チェック・ディジット許可



* Codabar 「7 チェック」 チェック・ディジット禁止



* Codabar チェック・ディジットを転送する



Codabar チェック・ディジットを転送しない

コード・フォーマット

CODE 39 フォーマット



Code 39 の Mod 43 チェック・ディジットを転送する - この設定は、4 ページの Mod 43 チェック・ディジット Code 39 オプションと併用します。この設定を使用するには、両オプションともに許可する必要があります。



* **Code 39 の Mod 43 チェック・ディジットを転送しない**



Code 39 ストップ/スタート・キャラクタを転送する - スキャナは Code 39 のスタート/ストップ・キャラクタをバーコード・データの前後に転送します。



* **Code 39 ストップ/スタート・キャラクタを転送しない**



イタリアの薬局コードの場合、「A」（41H）接頭詞を転送する



* **イタリアの薬局コードの場合、「A」（41H）接頭詞を転送しない**

CODE 11 フォーマット



Code 11 チェック・ディジットを転送する - このバーコードを8 ページの Code 11 許可と併用すると、Code 11 チェック・キャラクタを転送します。



* **Code 11 チェック・ディジットを転送しない**

テレベン



テレベンの ^L から E 変換許可



* **テレベンの ^L から E 変換禁止**

コード・フォーマット

PLESSEY



UK Plessey チェック・ディジットを転送する - スキャナは UK Plessey チェック・ディジット・キャラクタを転送します。UK Plessey オプションとともに使用する必要があります。



* UK Plessey チェック・ディジットを転送しない



UK Plessey 特別フォーマット許可



UK Plessey 特別フォーマット禁止



MSI Plessey チェック・ディジットを転送する - このオプションは9 ページの「MSI Plessey Mod オプションを有効」の項目と併行することが必要です。



* MSI Plessey チェック・ディジットを転送しない

インターリブド 2 of 5 コード・フォーマット



ITF の Mod 10 チェック・ディジットを転送する - これを選択すると、スキャナは ITF の Mod10 チェック・キャラクタを転送します。



* ITF の Mod 10 チェック・ディジットを転送しない - ITF の Mod 10 チェックと関連していて、両方の設定が有効になっている必要があります。



マトリックス 2 of 5 チェック・ディジットを転送する



* マトリックス 2 of 5 チェック・ディジットを転送しない

RS232



* **RS232 モード許可** - これを有効にすると、スキャナは RS-232 +/-12V シリアル出力となります。

パリティの設定

パリティ・ビットはデータ送信のエラーをキャッチする余分なデータ・ビットです。スキャナのパリティはホストのパリティと同じ設定にする必要があります。



パリティなし



奇数パリティ - 奇数パリティは 1 か 0 を選び、データ・ビットの奇数が 1 になるようにします。



* **スペース・パリティ** - スペース・パリティ 0 を設定します。



偶数パリティ - 偶数パリティは 1 か 0 を選び、データ・ビットの偶数が 1 になるようにします。



マーク・パリティ - マーク・パリティは常に 1 を設定します。

ボーレート



115200 ボーレート
(Voyager では使用できません)。



57600 ボーレート
(Voyager では使用できません)。



38400 ボーレート



19200 ボーレート



14400 ボーレート



* **9600 ボーレート**



4800 ボーレート

RS232

ボーレート



2400 ボーレート



1200 ボーレート



600 ボーレート



300 ボーレート

データ/ストップ・ビット



8 データ・ビット - それぞれのキャラクタが送信されるデータ・ビット数です。



* 7 データ・ビット



1 ストップ・ビット



* 2 ストップ・ビット

ハード・ハンドシェーク



RTS/CTS ハンドシェーク許可 - RTS 信号を出力し、CTS 信号を待機してデータを転送します。



* RTS/CTS ハンドシェーク禁止



* キャラクタ RTS/CTS -各キャラクタの RTS 信号をアクティベートしたり、非アクティベートする。



メッセージ RTS/CTS -最初のキャラクタを転送する前に RTS をアクティベートし、最後のキャラクタが転送されるまで、アクティブにしておく。

RS232

ハード・ハンドシェーク



逆 RTS ポラリティ(RSV1)

-12V = アクティブ +12V = 非アクティブ



* 標準 RTS ポラリティ - 標準 RTS ポラリティを使用

-12V = 非アクティブ +12V = アクティブ



逆 CTS ポラリティ (RSV2)

-12V = アクティブ、 +12V = 非アクティブ、
送信 OK 送信しない



* 標準 CTS ポラリティ

-12V = 非アクティブ、 +12V = アクティブ、
送信しない 送信 OK



RTS をアクティベートし、CTS を待機しない(RSV3) - 送信のために RTS をアクティベートするが、CTS を待機しません。



* RTS をアクティベートし、CTS を待機 - RTS をアクティベートした後に CTS を待機します。



RTS の前に CTS をテストする(RSV4) - CTS が既にアクティブな場合、RTS をアクティベートしません。



* RTS の前に CTS をテストしない



DTR サポート 許可 - スキャナは、Data Terminal Ready (DTR) 信号が非アクティブになると読取を停止します。



* DTR サポート 禁止



RTS カウンター・トグル 許可 - 正常に読取った際にスキャナは RTS ラインをトグルします。



* RTS カウンター・トグル 禁止



XON/XOFF ハンドシェーク 許可 - これを有効にして OFF (ASCII 13H)を受信すると、スキャナは送信をストップします。XON (ASCII 11H)を受信したら送信は再び開始します。



* XON/XOFF ハンドシェーク 禁止

RS232

ソフト・ハンドシェーク



ACK/NAK 許可 - データ送信後にホストから ACK (06H) か NAK (15H) 反応を待機します。ACK を受信した時、通信サイクルを完了し多くのデータを受けつけます。NAK を受信した時、最後のデータのみ送信し ACK/NAK を再び待機します。



* **ACK/NAK 禁止**



ACK/NAK の BEL/CAN をサポート - BEL (07H) を受信した時、
スキャナはピープ音を 3 回鳴動し通信ループから退出します。CAN (18H) を受信するとスキャナはピープ音なしに通信ループを退出します。



* **ACK/NAK の BEL/CAN を無視** - 通信ループで BEL/CAN キャラクタを無視します。



5 回の ACK/NAK タイムアウト 許可 - 通信ループから退出する前に、データの NAK 送信を 5 回まで試みます。



* **5 回の ACK/NAK タイムアウト 禁止**



5 回の NAK 再試行を許可
NAK を受信した場合にデータの再送信を 5 回まで許可します。



* **5 回の NAK 再試行を禁止**

その他の設定



French PC ターム許可 - これを有効にすると、スキャナは ASCII データ・キャラクタの代わりに PC タイプの make/break 読取コードを転送します。読取コードは WYSE French PC タームに合います。



* **French PC ターム禁止**

キーボード

キーボード・エミュレーションの有効



キーボード・ウェッジのデフォルトをロード - キーボード・ウェッジ・モードのデフォルト設定をロードします。



独立キーボード・エミュレーション 許可 - 外付キーボードにケーブルが接続されていない特別の独立キーボード・モデルに使用します。このモードを有効にすれば、スキャナはキーボードに「パワーON」データを送信し、ハードウェアを設定し、キーボードの接続をシミュレートします。



* キーボード・エミュレーション 許可 - 外部キーボードの使用時に設定します。バーコード・データが利用可能でない場合に、標準のPCキーボードによる通信を可能にするウェッジ・モードで転送します。

国別/読取コード表の選択



* 米国キーボード



スイス・キーボード



スペイン・キーボード



イタリア・キーボード



ドイツ・キーボード



フランス・キーボード



英国キーボード

キーボード

国別/読取コード表の選択



ベルギー・キーボード



日本キーボード



IBM 4700 ファイナンシャル・キーボード



スウェーデン/フィンランドキーボード



スロベニア・キーボード

キーボード/システム・タイプ



* AT キーボード - IBM PS/2 および互換モデル 50、55、60、80 を含みます。



XT キーボード - Voyager の特別なファームウェア。



PS/2 キーボード - IBM PC および互換モデル 30、70、8556 を含みます。



ターミナル・キーボード・エミュレーション 許可



モード1用 XT キーボード許可 - Voyager の特別なファームウェア。



モード2用 XT キーボード許可 - Voyager の特別なファームウェア。

キーボード

「Dumb」ターミナルの選択

注意：次のターミナルでカスタム・ケーブルが必要になる場合があります。



IBM ターミナル・キーボード



予約ターミナル・キーボード#2



予約ターミナル・キーボード#3



予約ターミナル・キーボード#4



予約ターミナル・キーボード#5



予約ターミナル・キーボード#6



予約ターミナル・キーボード#7



予約ターミナル・キーボード#8



小文字ロック・オン - すべてデータを小文字として転送します。



* 小文字ロック・オフ



スペイン・キーボード Ñ 代替 - 2 つのキャラクタ#および ^ をそれぞれ Ñ および ñ に変換します。



* スペイン・キーボード Ñ 代替なし

キーボード

特別キーボードの設定



Make コードのみ転送する - すべてのモデルで使用できるわけではありません。



* **Make/Break コードを転送する** - すべてのモデルで使用できるわけではありません。



* **F0H Break コードを転送する** - このスキャナは F0H Break コード・シーケンスを転送します。



F0H Break コードを転送しない



Cleanup ビットを転送する - NEC コンピュータのあるモデルのみに適用します。



* **Cleanup ビットを転送しない**



Alt モード 許可 - これを有効にすると、スキャナはこのキーボード・シーケンスをコピーします。Alt キーをホールドして適当なキャラクタに対応する 10 進数をタイプしてください。



* **Alt モード 禁止** - 注意: ホストのアプリケーション・ソフトが Alt キーを「ホット」キーとして使う場合、Alt モードは無効にしてください。



オート・ディテクト・モード(AT/PS2) 許可 - Caps ロック状態を自動的に検知します。



* **オート・ディテクト・モード(AT/PS2) 禁止**



Caps ロック (XT) 許可



* **Caps ロック (XT) 禁止**

キーボード

特別キーボードの設定



数字をキーボード・データとして転送する - これを有効にすると、すべてのデータはキーボードに入力されたデータとして送信されます。



* 数字を通常のデータとして転送する



予約設定項目 有効



* 予約設定項目 無効



* 拡張キーコードを送信の際、拡張 ASCII を使用する - PC キーボードのキー（F1、F2 等）を送信する場合、拡張 ASCII キャラクタを使います。



拡張 ASCII キャラクタを拡張 ASCII として使用する> - 拡張 ASCII コードを Alt モードで転送します。



* キャラクタ KB 禁止



メッセージ KB 禁止



右 Alt キー・シーケンス 許可



右 Alt キー・シーケンス 禁止



LaCaixa 特別キーボード接頭詞/接尾詞読取コード許可



* LaCaixa 特別キーボード接頭詞/接尾詞読取コード禁止

キーボード

インタースキャン・コード・ディレー



* インタースキャン・コード・ディレー800 msec - 指定された時間は各々の 11 ビット読取コード間の時間を表しています。ある種の PC キーボード BIOS で使用する場合は、このパラメータを調整する必要があります。



インタースキャン・コード・ディレー7.5 msec - 指定された時間は各々の 9 ビット読取コード間の時間を表しています。ある種の PC キーボード BIOS で使用する場合は、このパラメータを調整する必要があります。



インタースキャン・コード・ディレー15 msec - 指定された時間は各々の 11 ビット読取コード間の時間を表しています。ある種の PC キーボード BIOS で使用する場合は、このパラメータを調整する必要があります。



~ 可変インタースキャン・コード・ディレーmsec - 2 ページのマルチ・コード方式を参照。100µsec の増分ごとに値を設定します。

コントロール・セット

標準バーコードのシンボルは、一般的に ASCII コードのキャラクタ・セットをエンコードします。IBM コンパチのキーボードにあるファンクション・キー、アロー・キー、および他の拡張キーは ASCII キャラクタとしては変換されません。拡張キーをバーコード化する一つの方法として、特別 ASCII コントロール・キャラクタがバーコード・データのストリームにある場合、拡張キー・コードを代用して使う方法があります。コントロール・セットは ASCII (HEX コード) セットの特別変換として使われます。

コントロール・セット#1



コントロール・セット#1 許可



* コントロール・セット#1 禁止

キーボード

コントロール・セット#1

ASCII (HEX)	ASCII コントロール	拡張キー
00H	Null	Numeric Keypad + (Plus)
01H	SOH	Num Lock
02H	STX	Down Arrow
03H	ETX	Numeric Keypad- (Minus)
04H	EOT	Insert
05h	ENQ	Delete
06H	ACK	System Request
07H	BEL	➡ (Right Arrow)
08H	BS	⬅ (Left Arrow)
09H	TAB	Tab
0AH	LF	Caps Lock
0BH	VT	Shift Tab
0CH	FF	Left Alt
0DH	CR	Enter
0EH	SO	Left Control
0FH	SI	Up Arrow
10H	DLE	F1
11H	DC1	F2
12H	DC2	F3
13H	DC3	F4
14H	DC4	F5
15H	NAK	F6
16H	SYN	F7
17H	ETB	F8
18H	CAN	F9
19H	EM	F10
1AH	SUB	Home
1BH	ESC	Esc
1CH	FS	Page Up
1DH	GS	Page Down
1EH	RS	Print Screen
1FH	US	End

OCIA



OCIA モード許可 - OCIA (Optically Coupled Interface Adapter) 通信が必要な時はこのオプションを選択します。 このシリアル・インターフェースはホストに同期します。



OCIA デフォルトをロードする



DTS/Siemens 許可



* **DTS/Nixdorf 許可**



NCR-S 許可



NCR-F 許可



* **OCIA NCR-S モードの転送時に非 UPC コードを持つキャラクタ・カウントを転送する**



OCIA NCR-S モードの転送時に非 UPC コードを持つキャラクタ・カウントを転送しない

ライトペンのパラメータ



ライトペン・モード許可 - スキャナがライトペンの代わりに使われる場合、このオプションを読み取ります。バーコード・データはすべてライトペン・エミュレーションとなります。



* バー 高レベル



スペース高レベル



Code 39 として転送する - すべてのバーコードはデコードされ、Code 39 バーコードのデータとして転送されます。



* 読み取られたままに転送する - すべてのバーコードはデコードされ、そのシンボルのデータとして転送されます。



ライトペン・ソースをポーリングする - これを選択すると、データ転送前にスキャナはアクティブなソース電圧を待機します。



* ライトペン・ソースをポーリングしない



反転 IDLE/Extra トグル許可 - スキャナはピープ音を鳴らし、デコードに条件を設定するための追加データ・パルスとともにライトペン・データ・ラインをトグルします。



* 反転 IDLE/Extra トグル禁止



RTS ライン事前転送トグル許可



* RTS ライン事前転送トグル禁止

ライトペン・パラメータ

細エレメント幅の設定



10x 細エレメント・ボーダー - このオプションはライトペン/ワンド・エミュレーションを 10x ボーダー幅で転送します。



* **50x 細エレメント・ボーダー** - このオプションはライトペン/ワンド・エミュレーションを 50x ボーダー幅で転送します。



* **1 ms 細エレメント幅** - オプションはライトペン/ワンド・エミュレーションを 1ms の細エレメント幅で転送します。



60 μs 細エレメント幅



100 μs 細エレメント幅



500 μs 細エレメント幅



~ **可変の細エレメント幅** - 最小x寸法を 6 μs 毎の増加で設定します。このバーコードを読取り、66 ページの3 桁コード・バイト・シーケンスを読取ります。

MS9520/9540-00 レーザー・エミュレーション

ハンドヘルド・レーザー・エミュレーション・モード許可

MS9520-00 および MS9540-00 は、工場出荷時にはレーザー・エミュレーション・インターフェースが許可されています。

スキャナの再設定時に初期設定に戻す場合は、次のバーコードを読み取り、レーザー・エミュレーション・インターフェースを再度許可します。使用するスキャナでこの設定をサポートするには、スキャナに MS9520-00 または MS9540-00 のラベルを付ける必要があります。

HH レーザー・エミュレーション許可



ホスト制御のレーザー・エミュレーションが必要な場合、HHレーザー・エミュレーション許可バーコードを読み取った後、次のバーコードを読み取ります。

ホスト制御レーザー・エミュレーション許可



標準レーザー・エミュレーション・モーター・アイドル
状態



反転レーザー・エミュレーション・モーター・アイドル
状態

IBM 46xx 設定

IBM ポート



IBM 46xx 通信を許可- IBM46xx SIOC/RS485 通信のオプションです。すべてのスキャナはこのインターフェースをサポートしていません。適切なインターフェース・ボードが必要です。



46xx IBM デフォルトをロードする - IBM 46xx システムの初期設定状態のフォーマットにロードします。



IBM ポート 17B 3687-2 イン・カウンター



IBM ポート 5B 1520 HH レーザー



* IBM ポート 9B 4500 CCD HH BCR1



IBM ポート 9B 4501 CCD HH BCR2



* IBM 46xx と RS232 の CTS 選択禁止



CTS = -12 V 時に IBM 46xx 転送、CTS = +12 V 時に RS232 転送を許可

IBM 予約コード



IBM 予約コード#1



IBM 予約コード#2



IBM 予約コード#3



IBM 予約コード#5

USB

‡ **MS9500 シリーズと併用する場合**、次のコードにより MX009 変換ケーブルでの通信が許可されます。

または

‡ **MS5145 と併用する場合**、次のコードにより MX009 変換ケーブルを使用しない直接の USB 通信が許可されます。



USB インターフェース許可‡



低速 USB デフォルト許可‡



最高速 IBM OEM USB による MX009 最高速 RS232 通信を許可



統合最高速 USB デフォルトのロード



統合低速 USB を備えるスキャナで MX009 最高速 RS232 への RS232 転送を許可



統合低速 USB を備えるスキャナで MX009 最高速 RS232 への RS232 転送を禁止



バーコード ID 許可



バーコード ID 禁止



USB 予約コード#1 許可



USB 予約コード#1 禁止



USB 予約コード#2 許可



USB 予約コード#2 禁止

USB



Sears USB デフォルト



Sears Aux デフォルト



スキャナ 4B00h ハンドヘルド



スキャナ 4A00h 平台型



4a00h/6E00h スキャナ/スケール

次のコードは、内部低速 USB インターフェースと特定のソフトウェア・バージョンを備えるスキャナにのみ適用されます。これらのバーコードの使用および制限に関する詳細を Metrologic 担当者に連絡してください。



USB POS (Point-of-Sale) モード許可



スキャナの再設定時に初期設定バーコードを読取った場合、USB POS モードは許可されなくなります。USB POS モードを許可するには、USB POS モード許可を再度読取ることが必要です。



* USB キーボード (HID) モード許可

コード・バイトの使用



これらのコード・バイトを使用した項目の設定では、スキャナが設定モードに入っている必要があります。各種の設定を始める前には必ず2 ページの「IN/OUT 設定モード」を読取ってください。

例: ユーザーが設定可能なプリフィックス/サフィックス・キャラクタは、ASCII コードと同等の3桁小数を読取ることによって、コード・バイトのバーコードの適切なキャラクタ・ロケーションをスキャナにセーブできます。

アステリック印 (*) をプリフィックスとして付加する

1. 「IN/OUT 設定モード」 (3 回ビープ音発信)
2. 設定可能なプリフィックス #1 (1 回ビープ音発信)
3. コード・バイト 0 (1 回ビープ音発信)
4. コード・バイト 4 (2 回ビープ音発信)
5. コード・バイト 2 (3 回ビープ音発信)
6. 「IN/OUT 設定モード」 (3 回ビープ音発信)

コード・バイト 0-9



コード・バイト 0



コード・バイト 1



コード・バイト 2



コード・バイト 3



コード・バイト 4



コード・バイト 5



コード・バイト 6



コード・バイト 7



コード・バイト 8



コード・バイト 9

コード・バイトの使用

予約コード



~ 予約コード許可 - この設定については Metrologic 社に連絡ください。



~ 予約コード禁止

コード・タイプ表

コード・バイト	コード・タイプ
004	UPC-A
002	UPC-E
003	EAN-8
005	EAN-13
080	Code 39
081	Codabar
082	インターリブド 2 of 5
083	Code 128
084	Code 93
091	MSI Plessey
092	Code 11
093	Airline 2 of 5 (15 桁)
094	マトリックス 2 of 5
095	テレベン
096	UK Plessey
099	TRI-OPTIC
098	スタンダード 2 of 5
097	Airline (13 桁)

コード・バイトの使用

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 / コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
00	000	NUL	@
01	001	SOH	A
02	002	STX	B
03	003	ETX	C
04	004	EOT	D
05	005	ENQ	E
06	006	ACK	F
07	007	BEL	G
08	008	BS	H
09	009	HT	I
0A	010	LF	J
0B	011	VT	K
0C	012	FF	L
0D	013	CR	M
0E	014	SO	N
0F	015	SI	O
10	016	DLE	P
11	017	DC1	Q
12	018	DC2	R
13	019	DC3	S
14	020	DC4	T
15	021	NAK	U
16	022	SYN	V
17	023	ETB	W
18	024	CAN	X
19	025	EM	Y
1A	026	SUB	Z
1B	027	ESC	[
1C	028	FS	\

コード・バイトの使用

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
1D	029	GS	^
1E	030	RS	_
1F	031	US	space, blank
20	032	SP	
21	033	!	
22	034	"	
23	035	#	
24	036	\$	
25	037	%	
26	038	&	
27	039	'	apostrophe
28	040	(
29	041)	
2A	042	*	
2B	043	+	
2C	044	,	comma
2D	045	-	minus
2E	046	.	period
2F	047	/	
30	048	0	number zero
31	049	1	number one
32	050	2	
33	051	3	
34	052	4	
35	053	5	
36	054	6	
37	055	7	
38	056	8	
39	057	9	
3A	058	:	
3B	059	;	

コード・バイトの使用

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 / コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
3C	060	<	less than
3D	061	+	
3E	062	>	greater than
3F	063	?	
40	064	@	shift P
41	065	A	
42	066	B	
43	067	C	
44	068	D	
45	069	E	
46	070	F	
47	071	G	
48	072	H	
49	073	I	letter I
4A	074	J	
4B	075	K	
4C	076	L	
4D	077	M	
4E	078	N	
4F	079	O	letter O
50	080	P	
51	081	Q	
52	082	R	
53	083	S	
54	084	T	
55	085	U	
56	086	V	
57	087	W	
58	088	X	
59	089	Y	

コード・バイトの使用

ASCII 参考表

HEX 値	小数値 /コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
5A	090	Z	
5B	091	[shift K
5C	092	\	shift L
5D	093]	shift M
5E	094	^	à、 shift N
5F	095	_	□、 shift O、 underscore
60	096	`	accent grave
61	097	a	
62	098	b	
63	099	c	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	
6A	106	j	
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	

コード・バイトの使用

ASCII 参考表

HEX 値	小数値/コード・ バイト値	キャラクタ	コントロール・ キーボードと同等
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		vertical slash
7D	125	}	alt mode
7E	126	~	(alt mode)
7F	127	DEL	delete, rubout

拡張キー・コード参考表

キー	AT 読取コード	PS2 読取コード	3151	接頭/接尾値 HEX = 小数値
↑	75H	48H	63H	80H = 128
↓	72H	50H	60H	81H = 129
→	74H	4DH	6AH	82H = 130
←	6BH	4BH	61H	83H = 131
Insert	70H	52H	67H	84H = 132
Delete	71H	53H	64H	85H = 133
Home	6CH	47H	6EH	86H = 134
End	69H	4FH	00H	87H = 135
Page Up	7DH	49H	00H	88H = 136
Page Down	7AH	51H	00H	89H = 137
RightAlt	11H	38H	00H	8AH = 138
RightCtrl	14H	1DH	39H	8BH = 139
予約項目	00H	00H	00H	8CH = 140
予約項目	00H	00H	00H	8DH = 141
Numeric KeypadEnter	5AH	1CH	79H	8EH = 142
Numeric Keypad/	4AH	35H	00H	8FH = 143
F1	05H	3BH	07H	90H = 144
F2	06H	3CH	0FH	91H = 145
F3	04H	3DH	17H	92H = 146
F4	0CH	3EH	1FH	93H = 147
F5	03H	3FH	27H	94H = 148
F6	0BH	40H	2FH	95H = 149
F7	83H	41H	37H	96H = 150

コード・バイトの使用

拡張キー・コード参考表

キー	AT 宛取コード	PS2 宛取コード	3151	接頭/接尾値 HEX = 小数値
F8	0AH	42H	3FH	97H = 151
F9	01H	43H	47H	98H = 152
F10	09H	44H	4FH	99H = 153
F11	78H	57H	56H	9AH = 154
F12	07H	58H	5EH	9BH = 155
Numeric +	79H	4EH	00H	9CH = 156
Numeric -	7BH	4AH	7CH	9DH = 157
Numeric *	7CH	37H	00H	9EH = 158
Caps Lock	58H	3AH	14H	9FH = 159
Num Lock	77H	45H	00H	A0H = 160
Left alt	11H	38H	00H	A1H = 161
Left Ctrl	14H	1DH	11H	A2H = 162
Left Shift	12H	2AH	12H	A3H = 163
Right Shift	59H	36H	59H	A4H = 164
Print Screen	Multiple	00H	00H	A5H = 165
Tab	ODH	OFH	0DH	A6H = 166
Shift Tab	8DH	8FH	65H	A7H = 167
Enter	5AH	1CH	5AH	A8H = 168
ESC	76H	01H	08H	A9H = 169
Left ALT Make	11H	36H	00H	AAH = 170
Left ALT Break	11H	B6H	00H	ABH = 171
Left CTRL Make	14H	1DH	00H	ACH = 172
Left CTRL Break	14H	9DH	00H	ADH = 173
*Left ALT + 1 character	11H	36H	00H	AEH = 174
*Left Ctrl + 1 character	14H	1DH	00H	AFH = 175
*Send			58H	C0H = 192
Clear			6FH	C1H = 193
Jump			76H	C2H = 194
Send Line			7EH	C3H = 195
Erase EOF			6DH	C4H = 196
Send - Make Only			58H	C5H = 197

*例:

最初の設定プリフィックス = 174
 2 番目の設定プリフィックス = 065
 スキャナは <left ALT Make> “ A ” <Left ALT Break>を送信します。

MS9520 VOYAGER® & MS9540 VOYAGER CG® シリーズ

アクティベーション範囲

以下のバーコードは、読取フィールドに対象物が存在する場合に、赤外線（IR）センサ・アクティベートセンサ範囲を選択するために使用します。



* スタンド内の長い範囲



スタンド内の短い範囲



* スタンド外の長い範囲



スタンド外の短い範囲

CODEGATE®状態

次のバーコードを使用してボタンの機能を制御します。

注意: 次の機能は、MS5145 のすべてのバージョンでサポートされるわけではありません。



スタンド内で CodeGate アクティブ



* スタンド内で CodeGate 非アクティブ



* スタンド外で CodeGate アクティブ



スタンド外で CodeGate 非アクティブ

レーザー/読取モード



* **通常読取** - IR がバーコードを感知した後レーザーが動作し、レーザーは約 3 から 10 秒間オンしています。



点滅読取 - IR がバーコードを感知した後レーザーが動作し、レーザーは約 60 秒間、点滅します。



連続点滅読取 - レーザーは連続的に点滅し、IR は非活動となっています。この設定は、VoyagerPDF シリーズでは使用できません。

MS9520 VOYAGER® & MS9540 VOYAGER CG®シリーズ

レーザー/読取モード



特別(1 回) 読取 - 正常読取の後にレーザーはオフになります。



手作業アクティベート・モード許可 - CodeGate ボタンが押されるとレーザーがアクティベートします。

同一シンボル・タイムアウト

MS5145 Eclipse、MS9524、または MS9544 VoyagerPDF を使用している場合は、29 ページを参照してください。



同一シンボル・タイムアウトなし



1000 msec 同一シンボル・タイムアウト



* 875 msec 同一シンボル・タイムアウト



750 msec 同一シンボル・タイムアウト



625 msec 同一シンボル・タイムアウト



500 msec 同一シンボル・タイムアウト



375 msec 同一シンボル・タイムアウト



250 msec 同一シンボル・タイムアウト



同一シンボル・タイムアウトが無限

MS9524 & MS9544 VOYAGER^{PDF}シリーズ



* PDF 許可



PDF 禁止



* 可聴標識許可



可聴標識禁止



スタンド内の PDF CodeGate 許可



* スタンド内の PDF CodeGate 禁止



スタンド外の PDF CodeGate 許可



* スタンド外の PDF CodeGate 禁止



ファン・トーン許可 - このバーコードを読取った後、27 ページのオプションのトーン・バーコードを読取ります。



* ファン・トーン禁止

MICROPDF および合成コードの取り扱い



MicroPDF 許可 - 合成シンボル読取許可 (デフォルトで PDF 417 が許可されます)



* MicroPDF 禁止



* RSS 2D リンク許可 - 2D 部分を読取ることなく 1D RSS を転送



RSS 2D リンク禁止

MS9524 & MS9544 VOYAGER^{PDF}シリーズ



UPC/EAN リンク許可 - UPC/EAN シンボルを 2D 合成成分にリンクした後、転送します。



* **UPC/EAN リンク禁止**



* **Code 128 リンク許可** - 2D 部分を読取ることなく 1D Code 128 を転送します。



Code 128 リンク禁止



* **PDF 1D リンク許可** - 1D 部分を読取ることなく PDF-417 の 2D 部分を転送します。



PDF 1D リンク禁止



* **UPDF 1D リンク許可** - 1D 部分を読取ることなく microPDF の 2D 部分を転送します。



UPDF 1D リンク禁止



* **標準合成転送** - 1D および 2D の成分合成コンポーネントを常に個別に転送します。



個別合成転送 - 1D および 2D の成分合成コンポーネントを個別に転送します。



EAN-128 エミュレーション許可 - 転送の目的で UCC/EAN128 プロトコルを使用します。



* **EAN-128 エミュレーション禁止**

同一シンボル・タイムアウト情報については、26ページを参照してください。

MS9535 VOYAGERBT™

Bluetooth アドレス取得



Bluetooth アドレスを取得するように VoyagerBT を設定する

- 次に読取るバーコードが 12 個のキャラクタから構成される場合、スキャナはコードを記憶して Bluetooth 接続を確立します。
- 次に読取るバーコードが 12 個のキャラクタから構成されない場合、スキャナはコードを記憶して Bluetooth 接続を確立します。次に、このバーコードを再スキャンする必要があります。

Bluetooth サービス提供



VoyagerBT をサーバーとして動作するように設定します。これにより、Bluetooth 技術を使用する他の装置が VoyagerBT への接続を開始できるようになります。



1 分で休止 - レーザーが 1 分間オフの状態を継続した後、スキャナが休止（省電力）モードに入ります。



2 分で休止 - レーザーが 2 分間オフの状態を継続した後、スキャナが休止（省電力）モードに入ります。



5 分で休止 - レーザーが 5 分間オフの状態を継続した後、スキャナが休止（省電力）モードに入ります。



10 分で休止 - レーザーが 10 分間オフの状態を継続した後、スキャナが休止（省電力）モードに入ります。

MS9535 VOYAGER^{BT}™



Bluetooth テスト許可 - クレードルには、一部の接続情報 (KO、OK など) が表示されます。



Metrologic 社の担当者の指示がない限り、この設定を有効にしないでください。



* **Bluetooth®テスト禁止**



範囲ゲート許可 - Bluetooth 接続が中断している場合に読取ったバーコードを RAM に保存します。



* **範囲ゲート禁止**



Bluetooth アドレス転送許可



Bluetooth ソフトウェア・バージョン転送許可



スタンバイ・エラーでのオーディオ標識 - Bluetooth スキャナがスタンバイ/充電クレードル内でバッテリー・ターミナル・コンタクトに接続していない場合に可聴標識をアクティベートします。



* **スタンバイ・エラーでの標識**

MS9535-5M VOYAGERBT™



インベントリ・モード許可 – 読取ったバーコード・データがスキャナの拡張メモリ・ベースに保存されます。スキャナを Bluetooth クレードルに戻したときにデータが転送されます。



バーコードの読取時にメモリ・ベースが一杯であるために保存されないときは、特別なピープ音が鳴ります。メモリを空にするには、スキャナを Bluetooth クレードルに挿入する必要があります。



* **インベントリ・モード禁止**



* **自動クレードル転送** – スキャナを Bluetooth クレードルに挿入したときに、すべてのバーコード・データが自動的に転送されます。



クレードル転送なし – Bluetooth クレードルへの挿入時に、スキャナはバーコード・データを自動的に転送しません。



* **インベントリ FIFO 転送** – データがファーストイン/ファーストアウト方式で転送されます。



インベントリ LIFO 転送 – データがラストイン/ファーストアウト方式で転送されます。



インベントリ・ピープ音許可 – 各バーコードの転送時にピープ音が鳴ります。データ転送の完了時に特別な可聴標識が鳴ります。



* **インベントリ・ピープ音禁止**



* **転送/エントリ・カウンタなし**



転送/エントリ・カウンタ – バーコード・データとともに転送されるオプション・フィールドであり、バファ全体の転送にかかった転送回数を示します。

MS9535-5M VOYAGERBT™



インベントリ・レコード・クリア – メモリ内に保存されたすべてのバーコード・データをクリアします。



最終レコードの削除 – 最後に保存されたバーコードを削除します。

「転送量フィールド」を許可している場合、読取られる量コードはそれぞれ一意のフィールドです。最終レコード削除バーコードを読取ると、最後に読取った量コードが削除されます。

例: 量 103 (量 1、量 0、および量 3) を読取った場合で、量 10 が適切だったケースを考えます。

1. 最終レコード削除バーコードを読取ります。
2. 量 3 コードが削除され、その結果として量 10 が保存されます。



すべてのレコードの転送 – すべての保存データ・レコードを転送します。



レコード・カウンタ転送 – レコードの数と、現在保存されているバーコードの数をスペースで区切った 5 桁の数値として転送します。



量フィールド転送 – 読取った最後のアイテム (バーコード) に量フィールドを追加します。この設定を許可すると、ユーザーは最後に読取ったアイテム (バーコード) の数量として 1~9999 を入力できます (82 ページのインベントリ量バーコードを参照)。



* **量フィールドを転送しない**

MS9535-5M VOYAGERBT™

インベントリ量バーコード**

次のインベントリ量バーコードにより、ユーザーは最後に読取ったアイテム（バーコード）に 1～9999 の量を入力できます。量バーコードで指定した回数、アイテムのバーコード・データが再送されます。

例:

1. アイテムのバーコード（ABCD）を読取ります。
2. 量 1 バーコードを読取ります。
3. 量 0 バーコードを読取ります。
4. ABCD バーコードが 10 回転送されます。



量 0



量 1



量 2



量 3



量 4



量 5



量 6



量 7



量 8



量 9

** この設定の（81 ページの）量フィールド転送を許可する必要があります。

IS4120FL/IS4220FL 読取エンジン



古いシリアル・プログラム 禁止



古いシリアル・プログラム 許可



TTL UART 許可



非パファ TTL UART 許可



ディテクトおよび通知モード許可



Cunningham デフォルト - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Cunningham のデフォルトが有効になります。



初期設定

同一シンボル・タイムアウト情報については、75ページを参照してください。

その他の設定項目

カスタム・デフォルト

Metrologic 社は幾多のスカナを OEM 顧客のアプリケーション用に製造しています。OEM スカナは Metrologic 社の工場出荷時のデフォルトとは違います。このバーコードを読み取ると、デフォルト・テーブルが Metrologic 社のデフォルトに再設定されます。



工場出荷デフォルト許可 - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Metrologic 社の工場出荷時のデフォルトにリセットされます。



初期設定



Ruby Verifone デフォルト - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Ruby Verifone のデフォルトが有効になります。



RCH - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると RCH のデフォルトが有効になります。



Sanyo - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Sanyo のデフォルトが有効になります。



Gilbarco - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると Gilbarco のデフォルトが有効になります。



ALT Defaults - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると ALT のデフォルトが有効になります。



LaCaixa カスタム・キーボードのデフォルト - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると LaCaixa のデフォルトが有効になります。



ABACAB デフォルト - このバーコードを読み取り、「初期設定」をスキャンすると ABACAB のデフォルトが有効になります。

その他の設定項目

シリアル・プログラム・モード

シリアル・プログラム・モードを使うには、すべてのコマンドが STX (02 Hex) と ETX (03 Hex)で囲まれている必要があります。

初期設定を行うには：

1. シリアル・ポートを通して<STX>999999<ETX> を送信すると、スキャナはシリアル・プログラム・モードになります。読取は一時中止になりスキャナは ACK (06 Hex)信号で応答します。
2. シリアル・ポートを通して<STX>999998<ETX> を送信するとMetroSelect® ガイドにある初期設定のバーコードとなります。スキャナはACK (06 Hex)信号で応答します。
3. シリアル・ポートを通して<STX>999999<ETX> を送信すると、スキャナは「IN/OUT 設定モード」になり、新しい設定をセーブします。スキャナは 3 回ピープ音を鳴動し、ACK (06 Hex)信号を送信します。

スキャナがコマンドを認識しない場合は、NAK (15 Hex)信号で応答します。シリアル・プログラム・モードの詳細の説明については「取付およびユーザー・ガイド」を参照してください。

NOTES

所在地および連絡先

北米コーポレート本社

米国、ニュージャージー

Metrologic Instruments, Inc.
Tel: 1-800-ID-METRO Fax: 856-228-6673
Email: info@metrologic.com

中南米

ブラジル、サンパウロ

Metrologic do Brasil Ltda.
Tel: 55-11-5182-8226 Fax: 55-11-5182-8315
Email: info@br.metrologic.com

ブラジル、サンパウロ以外

Metrologic South America
Tel: 55-11-5182-7273 Fax: 55-11-5182-7198
Email: info@sa.metrologic.com

アジア本社

アジア、シンガポール

Metrologic Asia (Pte) Ltd
Tel: (65) 6842-7155 Fax: (65) 6842-7166
Email: info@sg.metrologic.com

中国

MTLG Auto ID Instruments (Shanghai) Co., Ltd
Tel: 86-2158692780 Fax: 86-21-58692782
Email: info@cn.metrologic.com

Metro (Suzhou) Sales Office
Tel: 86-512-67622550 Fax: 86-512-67622560
Email: info@cn.metrologic.com

Guangzhou Sales Office
Tel: 86-20-38823476 Fax: 86-20-38823477
Email: info@cn.metrologic.com

Beijing Sales Office
Tel/Fax: 86 10 82253472
Email: info@cn.metrologic.com

日本、東京

Metrologic Japan Co., Ltd.
Tel: 81-03-3839-8511 Fax: 81-03-3839-8519
Email: info@jp.metrologic.com

インド、バンガロール

Metrologic India
Tel: +91 80 51256718 Fax: +91 80 51256719
Email: info@in.metrologic.com

欧州/中東/アフリカ本社

ドイツ、ミュンヘン

Metrologic Instruments GmbH
Tel: 49-89-89019-0 Fax: 49-89-89019-200
Email: info@europe.metrologic.com

ドイツ/オーストリア/スイス

Tel: 49-89-89019-0 Fax: 49-89-89019-200
Email: info@de.metrologic.com

東欧/中東

Tel: 49-89-89019-222 Fax: 49-89-89019-173

イタリア、ボローニャ

Metrologic Instruments Italia srl
Tel: +39 0 51 6511978 Fax: +39 0 51 6521337
Email: info@it.metrologic.com

フランス、パリ

Metrologic Eria France SA
Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78
Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94
Email: info@fr.metrologic.com

スペイン、マドリッド

Metrologic Eria Ibérica, SL
Tel: +34 913 272 400 Fax: +34 913 273 829
Email: info@es.metrologic.com

Metrologic European Repair Center (MERC)
Metrologic Eria Ibérica, SL
Tel: +34 913 751 249 Fax: +34 913 270 437

英国、ベijingストーク

Metrologic Instruments UK Limited
Tel: +44 (0) 1256 365900
Fax: +44 (0) 1256 365955
Email: info@uk.metrologic.com

ロシア、モスクワ

Metrologic Russia
Tel: +7 095 730 7424 Fax: +7 095 730 7425
Email: info@ru.metrologic.com

ポーランド、ワルシャワ

Metrologic Instruments Poland Sp.z o.o
Tel: +48 (22) 545 04 30
Fax: +48 (22) 545 04 31
Email: info@pl.metrologic.com

2004 年 12 月

米国発行



00 - 02544 E